

一学部（和歌山病院入院生）の紹介

一学部には、学校に隣接する独立行政法人国立病院機構和歌山病院の重症心身障害児者病棟に入院している児童生徒が在籍しています。医療的な管理の必要な児童生徒が多く、それぞれの実態に応じ、病棟内及び本校で学習しています。

1 病棟内でのベッドサイド授業

気管切開をしていて呼吸器装着が必要である等呼吸状態や健康状態が安定しにくい児童生徒に対し、教師が病棟に出向き、ベッドサイドで授業を行っています。

障害が重く、体を動かしたり表情を変えたりすることが難しい児童生徒が多いです。わずかな眼球の動きや舌の動き、指先の動きで表出しようとしている児童生徒の気持ちを読み取り、言語化して伝え、一緒に活動することで、徐々に好きなこと（興味・関心）を増やし、自分の思いや学びたいことを伝える力をつけたいと考えて取り組んでいます。

また、実態に則して教科指導を行っている生徒もいます。



2 本校教室での授業

健康状態が安定している児童生徒は、病棟から車椅子に乗って、本校教室や「はまかぜ教室」に、登校しています。学校看護師が常駐し、必要に応じて喀痰吸引を行うことにより、安全に呼吸状態で授業を受けることができます。

（ただし、学校での吸引等については、「医療的ケア」の手続きが必要です。）

登校生は、実態に応じた学習集団を編成し、見通しを持って活動する力や、友達を意識しながら意欲的に活動したりする力、気持ちを表現する力をつけたいと考えて取り組んでいます。また、可能な範囲で校外学習や体験学習を行い、経験の拡大を図っています。



授業の様子

日常生活の指導「朝の会」



日常生活の指導「摂食指導」



遊び・課題活動「視聴覚」



遊び・課題活動「図工・美術」



遊び・課題活動「音楽」



遊び・課題活動「生活」



自立活動「運動(遊具)」



自立活動「運動(ゲーム)」



特別活動(病棟との合同行事)



月に1回、病院の療育活動に参加している患者さんと交流する時間を設定しています。卒業生や就学前の患者さんの様子を教師が知る良い機会にもなります。



年4回の各病棟で行われる行事にも参加します。児童生徒が同じ病棟の患者さんと交流する良い機会となっています。

ベッドサイド生

遊び・課題活動「視聴覚」



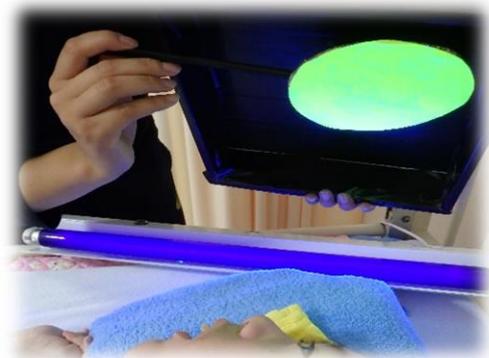
遊び・課題活動「図工・美術」



遊び・課題活動「音楽」



遊び・課題活動「生活」



体調が安定すると、週に1~2回程度登校が可能になる場合があります。集団での授業や学習の場が広がります。



教材の工夫



個々の手に合った持ち手を作り、自分で筆先を見ながら、描きやすいようにしています。



黒いボードで視覚支援して、注目を促します。
黄色のカードを選んだ後、黄色の持ち手の筆に黄色の絵の具を付けて描き、色の理解とともに、自分の行動の繋がりを促しています。



わずかな動きでも音が鳴らせるようにしています。



お話の中で登場する動物の違いが分かるように、素材を変えたり、楽器音を変えたりして、触角や聴覚でも物を捉えやすいようにしています。



紐を引っ張ると、わずかな力でもボールが転がるように工夫しています。ボールの転がる様子やピンの倒れる様子が見えるように左右どちらからでも紐が引っ張れるようになっています。



蛍光絵の具や蛍光紙で教材を作り、ブラックライトで照らして、視覚支援をしています。